



平成27年10月15日

各 位

会 社 名 ヤマシンフィルタ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山崎 敦彦
(コード番号：6240 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 鷹野 徹
(TEL. 045-680-1671)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年10月15日開催の取締役会において、平成27年5月15日に開示した平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の業績予想に関して、有価証券上場規程第405条及び同施行規則第407条が定める基準を上回る乖離が生じる見込みとなったため、下記の通り業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成28年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	11,353	835	823	540	43.48円
今回修正予想 (B)	10,351	526	503	329	26.52円
増減額 (B-A)	△1,002	△309	△319	△210	—
増減率 (%)	△8.8%	△37.0%	△38.8%	△39.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	10,703	869	830	430	38.35円

(注) 当社は、平成27年8月4日開催の取締役会の決議に基づき、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって分割する株式分割を行っております。これに伴い、平成27年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 業績予想の修正理由

平成28年3月期の建設機械市場の見通しにつきましては、前回通期の業績予想を公表した平成27年5月15日時点と比較し世界的に新車需要は一段と減少する傾向にあります。中でも中国市場の落ち込みは顕著であり、こうした状況を踏まえ当社の主要得意先各社は人材の削減、合理化に向けた取り組みを一段と加速しております。このような市場環境の更なる悪化を踏まえ、平成27年5月15日に公表した通期の業績予想の修正を行います。

- a. 売上高については、当社のライン用フィルタにおける主力の油圧フィルタに関しては、主に中国市場での販売台数の減少により、当初の見通しを大幅に下回る事が想定されており、当初の業績予想に比

べ約 23%の減収となる見込みです。得意先各社への新規採用を予定していた燃料用フィルタ、エンジン用オイルフィルタ等、他のライン用フィルタに関しては、原油価格の下落による影響から北米市場において当初の見通しを下回る見込みであり、ライン用フィルタ全体では、当初の業績予想に比べ約 21%の減収となる見込みです。

また、補給用フィルタに関しては、アフターマーケット市場においても同様に中国市場低迷の影響をうけており、当初の見通しを下回る見込みであることから、売上高全体で、当初の業績予想に比べ 8.8%の減収となる見込みです。

- b. 営業利益については、当初予定されていた中途採用活動の一時凍結、設備投資計画の見直し、経費の削減により収益確保のためコスト低減を図っておりますが、販売費及び一般管理費における固定費の水準は一定であることから、売上高の減少に伴い、当初の業績予想に比べ 37.0%の減益となる見込みです。
- c. 経常利益については、預金の受取利息、配当金収入及び支払利息等を計上しており、営業利益の減少に伴い、当初の業績予想に比べ 38.8%の減益となる見込みです。
- d. 親会社株主に帰属する当期純利益については、特別損益項目に計上する予定のある項目は特段ないことから、経常利益の減少に伴い、当初の業績予想に比べ 39.0%の減益となる見込みです。

なお、配当予想並びに株主優待につきましては、平成 27 年 8 月 4 日に開示した株式分割及び定款変更並びに配当予想修正に関するお知らせ、及び平成 27 年 8 月 5 日に開示した株主優待制度に関するお知らせの内容に変更はありません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上